

令和5年1月26日

足立区立舎人第一小学校
校長 澁谷 あゆみ 様

足立区立舎人第一小学校 開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

全体を通して落ち着いて、様々な学習に取り組んでいることがわかる。若手の教員が多い中、校内研究を通して教員の意識向上が見られたり、学年を超えて問題解決に取り組んだりしていることが評価できる。児童アンケートにおいて「授業が分かる92%」「学校が楽しい93%」という結果は、学校としての取り組みが功を奏したものだと感じる。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- ・子ども一人一人に丁寧に対応しているのは、昨年度とは違う新しい取り組みをしていて、熱意を感じた。
- ・コロナ禍で学校行事への地域・保護者の参加が減少してしまったので、学校への関心が薄まらないように協力していきたい。
- ・自分から挨拶できる子が増えるといいと思う。
- ・学校行事やPTA行事も緩和されて今年は、いろいろな行事が実施できてよかった。
- ・舎人第一小学校の伝統を少しでも長く継続できるようにお手伝いしていきたい。
- ・運動会などの行事の内容が薄くなってしまっているように思える。6年生が1年生のお世話をする「とねいち」らしさは残していきたい。

3 その他

- ・学力向上の取り組みも充実していて、児童の授業理解が92%というのは、成果が出ている。
- ・キッパで感じることだが、言葉遣いが悪い。上の学年の子が下の学年の子に「やさしく面倒を見る」ということができていない。せっかく縦割り班活動をしているのに残念。
- ・肝試し大会の際に、教員と保護者との間で子どもたちを楽しませる行事が開催できたことはよかった。6年生が心配との声もあったが、6年生一人一人を見ていると素直で繊細な子のように見うけられた。先生方の熱意で、よりよい学校づくりができることを願っている。